

保健研究部

大阪市立幼稚園51園の養護教諭で構成している研究組織です。子どもたちの健やかな成長を願い、討議会や情報交換を通して資質向上に努めています

令和6・7年度 研究主題

生命(いのち)の安全教育を通して、
自分の体に関心をもち大切にしようとする心を育む

★ほけんだよりの配付と保護者アンケートについて★

ほけんだより

プール遊びに向けて幼児にプライベートパーツについての保健指導を実施しました。プライベートパーツとはなにか、プライベートパーツを守るための約束などについて知らせました。

そして保健指導実施後に、ほけんだよりを配付しました。「生命(いのち)の安全教育」とはなにか、子どもの性被害について、また、保健指導の内容や幼児の姿を写真で知らせ、保護者にも分かりやすく啓発をしました。

ほけんだより 臨時号～生命(いのち)の安全教育～

~~~~~

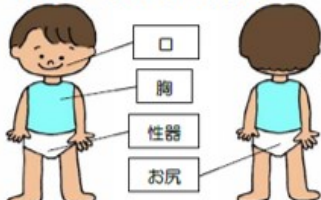
#### 生命(いのち)の安全教育とは

「生命(いのち)を大切にする」、「性暴力の「加害者にならない」「被害者にならない」「傍観者にならない」ための教育です。文部科学省の推進により、令和5年度から全国の学校園で本格的に開始され、幼児も対象になっています。

#### ☆幼児期のねらい☆ (文部科学省「生命(いのち)の安全教育」指導の手引き参考)

- ・自分の体は自分だけのものであり、大切にすること
- ・自分だけの大切なところ(プライベートパーツ)は、見せたり、触らせたりしてはいけないことを意識する
- ・自分の体を見られたり、触られたりして嫌な気持ちになったときの対応方法を身に付ける
- ・自分の体と同様に、相手の体も大切にすること
- ・相手の大切なところを、見たり、触ったりしてはいけないことを意識する

#### <プライベートパーツってなに?>



体はすべてが大切なものですが、プライベートパーツは「いのち」に関わる特に大切な部分です。

#### <プライベートパーツを守るための約束>

幼児期は遊びやスキンシップの延長で、人との距離が近くなりすぎてしまうことがあります。必要に応じて声かけや指導を行っていきたいと思います。



自分のプライベートパーツは人に見せたり触らせたりしない



人のプライベートパーツを見たり触ったりしない



相手が嫌がるスキンシップはしない

#### <子どもの性被害について>

顔見知りの人や、身近な人からの加害が多く、また、子どもの性被害については気づきにくいことも問題となっています。

#### 子どもの性被害に気づきにくい理由

- ・遊びの延長
- ・性的な行為であることを認識できない
- ・被害を打ち明けられないケースが多い
- ・加害者から口止めされていることも多い

秘密だよ

みんなもしてることだよ

おうちの人が知ったら怒るよ

#### 幼児期から生命の安全教育に取り組むことが大切

もしも、おさんのいつもと違う様子に気づいたら、「なにが困っていることはある?」「なんでも話してね」など安心して話せるよう声をかけてあげてください。もし被害を打ち明けたら、まずはおさんの話を信じてあげてください。そして、幼稚園や専門機関に相談してください。

SNSで相談

Cure time  
(キアタイム)

電話で相談

性暴力・性被害被害者のためのカウンセリングセンター  
ほけんどうり  
#8891

自衛隊児童相談所(豊中)  
#8103

内閣府 / 警察庁 / 消費者庁 / こども家庭庁 / 総務省 / 法務省 / 文部科学省 / 厚生労働省

令和7年度「若年層の性暴力被害予防月間」ポスターより抜粋

~~~~~

<保健指導を行いました>

プール遊びが始まる前に保健指導を行い、体の特に大切なところ(プライベートパーツ)についてや、それを守るための約束を知らせました。また、水着から着替える時は、プライベートパーツを守る(隠す)ために、パンツや下着から身に替えることも確認しました。



体の名前クイズ!
ここはなんていうか
知ってるかな?

体はどこも大切だけど、
特に大切なところがあるよ

着替える時は、
何から替ると
いいでしょう?

パンツからかなあ

このプライベートパーツの知識が「自分を守る力」に結びます。
ご家庭でもぜひ話をしてみてください。

保護者アンケート

ほけんだよりを配布後に保護者アンケートを実施しました。

「生命（いのち）の安全教育」について知っていましたか？

「知らなかった」 71%

「生命（いのち）の安全教育」について理解できましたか？

「理解できた」「だいたい理解できた」を合わせて 99%

今後、家庭でも取り入れてみようと思いましたか？

「思う」「少し思う」を合わせて 99%

～保護者からのコメント～

子どもたちの「自分の体を大切にしようとする気持ち」を一緒に育ててくださる園の先生方に心から感謝です。

お風呂でもプライベートパーツだけは、自分で洗ってもらっています。お外でどうしても妹のオムツを変えないといけないとき、「プライベートパーツだから隠さないと！」と兄と一緒に守ってくれました。

幼児期から教えるべきだと思って家で話をしていたので、幼稚園でも指導してもらえてよかったし、定期的にしていただきたいです。



「服を脱いだらすぐ着替えるんだよ！」と教えてくれました。少しずつ覚えて、大切なことだと理解してもらえるよう家でもまた話したいです。

アンケート結果やコメントから、幼稚園で実施した保健指導の内容や家庭でも取り組める内容を伝えたことで、生命（いのち）の安全教育について話し合うきっかけとなり、家庭での実践につながる第一歩になったと感じました。今後も園と家庭で連携し、実態に応じた指導や定期的に保護者啓発を継続していきたいです。

